

众曰

ХиѣиѣиХи  
ЗѣѣХ

東島通商語

# この辞典の使い方

## 1. 見出し語

まえがきで提示した「日本机戦連盟が送り出してきた全てを読む」という観点に基づき、親見出しとして 830 語程度を選定するとともに、子見出しも 120 個余り掲載した。

## 2. 分類と配列

日本語話者にとっての便宜を最大限図るために、基本的に仮名転写の五十音順で配列した。ただし、ㇿで始まる語・0で始まる語に関しては、例外的にそれぞれヤ行・ワ行の位置に配置し、頭文字に応じて用いるべき爪見出しが定まるようにした。その際には「イエ」ㇿは「ユ」と「ヨ」の間に、「ウィ」0ㇿ・「ウェ」0ㇿ・「ウォ」0ㇿは「ワ」より後ろに配置した。

## 3. 品詞

品詞分類は、цэ злцэни енцэ хуѳудуху ззезх злпн збнб злпн еззбюни およびその和訳「東島通商語入門」を基盤とし、名詞・動詞・特殊動詞・形容詞・前置助動詞・後置助動詞・前置詞・間投詞・数詞・文接続詞・名詞接続詞・特殊接続詞の 12 品詞を認定した。動詞の中でも、пнで終わり目的語を取るものには「他動詞」と表示した。名詞の後ろについて名詞を作る辞は、「名詞接尾辞」と表示した。

## 4. 語義と訳語

語義には、先頭に品詞を記した。品詞が同一であっても、語義や用法が大きく異なる場合については行を分けた。



# 東島通商語文法 概略

## 第1部：入門

### 1. 東島通商語について

東島通商語（ペメセペ・ルクフ）は、アイル共和国（図1）で話されている言語のひとつで、東諸島共和国連合（PMCF）議会の公用語として用いられています。リパライン語系の混成言語であり、以前は「カダ・リネパイネ」（穢れたリパライン語）と呼ばれ見下されていたものの、10月8日事件を機にアイル民族中心主義に反対する内戦が発生し、アイル語の使用の強制が行われなくなったため、現在のアイル共和国では、最も広範に使われる言語です。

言語のタイプとしては、語形変化が比較的少ないという特徴があります。東島通商語は、音を表すペメセペ・ルヨトという文字を主に使って表記し、表意文字である燐字を補助的に使いますが、ここではカタカナを用いた表記で説明します。日本語の発音と東島通商語の発音はある程度親和性が高いので、このカタカナ表記によって東島通商語の発音を直感的に、かつかなり正確に理解することができます。

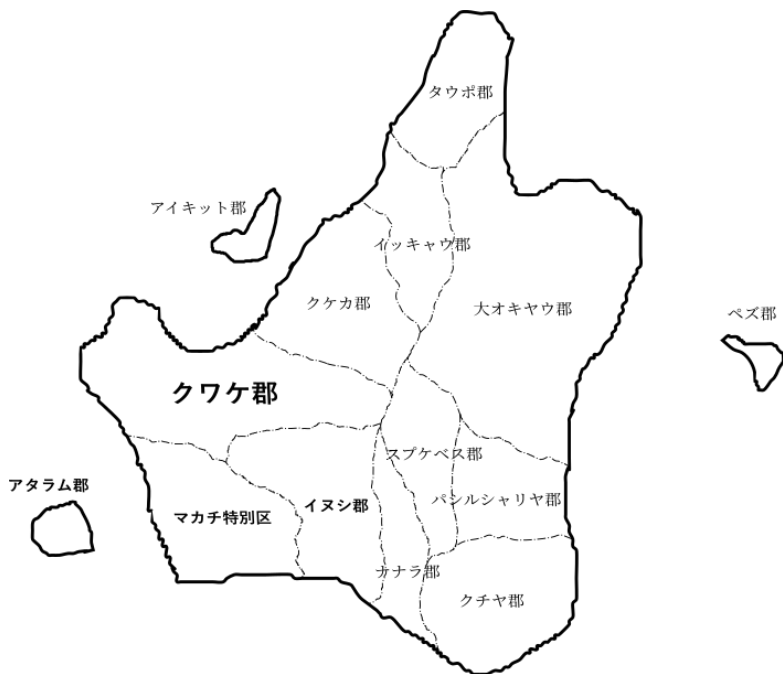


図1：アイル共和国略地図（太字は首都部）

## 2. 発音

### 子音と母音

東島通商語の子音は以下の通りです。日本語よりも種類が少なく、スイとシ、ツイとティとチを区別する必要がないという点でも日本語話者の皆さんにとっては発音しやすいことでしょう。

パ行	バ行	マ行		
サ行	シャ行	ツァ・チャ行		
タ行	ダ行	ナ行	ラ行	カ行

東島通商語の母音は、日本語と同様「ア・イ・ウ・エ・オ」の5種類です。「ウ」は日本語よりも唇を丸めて発音するよう心掛けるのがおすすめです。日本語の「ウ」のような発音でも構いません。

母音の後には、さらに子音が続くことがあります。ここに繋げることができる子音は以下の6つです。

プ	ス	ト	ン	ル	ク
---	---	---	---	---	---

これらは**子音単独**で発音する必要があります。例えば「デル」と発音する場合、最後に母音をつけて「デル」のように発音してしまわないように注意しましょう。母音の無い「デル」は「黒」という意味ですが、「デル」は「～する必要がある」の意味で、この2つは明確に区別されます。

### 3. 簡単な文法

#### 語順と構文

動詞の活用や「～を」といった助詞などを数多く使って単語の間の関係性を表す日本語と異なり、活用や助詞の少ない東島通商語では、語順がとても重要です。たとえば、「ラタ・クンラニト・ピセ」なら「人が

動物を食べる」ですが、「ピセ・クンラニト・ラタ」なら「動物が人を食べる」の意味です。

ЗБИБ	ЕСЮЗБИНИ	ХНДУ
ラタ	クンラニト	ピセ
人	～を食べる	獣
人が獣を食べる		

ХНДУ	ЕСЮЗБИНИ	ЗБИБ
ピセ	クンラニト	ラタ
獣	～を食べる	人
獣が人を食べる		

学び始めの段階では、英語を連想するとよいでしょう。たとえば I drink water. という文では、文の真ん中にある drink が「飲む」という動詞になっていて、動詞の前に来ている I によって「誰が？」という情報が、動詞の後の water によって「何を？」という情報が提供されますね。

そんな感じで、文の中心を成す動詞を見つけることができれば、それ以前の部分がだまかに「誰が？／何が？」、それ以降の部分が「誰を？／何を？」に対応する、と考えていくと、簡単な文を読んでいくことができるはずですよ。

しかも、東島通商語では、「何を？」という要素（目的語）を後ろに置けるような動詞はNM（イト）で終わるという法則があります。

一方で、「何を？」を扱わないような動詞では、U（エ）を動詞の前につけて、それが動詞であることを示します。

530U	U 30000
アルウェ	エ・ルスス
祭典	終わる
祭典が終わる。	

なお、「私は兵士です」のような名詞が述語になる文の場合は、U（エ）自体を動詞として使い、以下のようにします。

0n	U	U30U
ミ	エ	エルメ
私	～は～です	兵士
私は兵士です。		

## 否定文

肯定文を否定文にするには、「食べる」のような動詞の前にニフ（～しない）を付けます。



ЗБИБ	ЮПХ	ЕЮЗБИЮПИ	ИЭДБ
ラタ	<b>ニブ</b>	クンラニト	トシャ
人	<b>～しない</b>	～を食べる	石
人は石を食べない。			

## 疑問文

疑問文は、肯定・否定で答えることのできるものについては文末に「オ・ニブ」を付けます。

ДЭ	ЕЮЗБИЮПИ	ЦЭДПХ	Э ЮПХ
ソ	クンラニト	ユシェブ	<b>オ・ニブ</b>
あなた	～を食べる	米	<b>～か？</b>
あなたは米を食べるか？			

なお、「オ・ニブ」が無くとも、文脈によっては疑問文と解釈されやすくなることがあります。この場合、文章の最後を上げ調子にして疑問文であることを示します。

一方で、「何」「誰」「いつ」といった疑問詞に対しての答えを求める疑問文については、「オ・ニブ」を用いません。以下のように聞きたい箇所を疑問詞に置き換えることで疑問詞を作ることができます。

ᠳᠤ	ᠡᠰᠢᠵᠤᠰᠢᠵᠤᠨᠢ	ᠡᠰᠢᠳᠤ
ソ	クンラニト	カメ
あなた	～を食べる	何
あなたは何を食べる？		

## 簡単な疑問詞

単語	意味
ᠡᠰᠢᠳᠤ (カメ)	何
ᠡᠰᠢᠳᠤ ᠰᠪᠢᠨᠪ (カメ・ラタ)	誰
ᠡᠰᠢᠳᠤ ᠢᠵᠢᠰᠤ (カメ・ノレ)	いつ
ᠡᠰᠢᠳᠤ ᠬᠡᠮᠤ (カメ・ポト)	どこ
ᠡᠰᠢᠳᠤ ᠢᠵᠢᠰᠤ (カメ・ナル)	どんな理由

## 第2部：より詳しい文法

東島通商語を使って文意を伝えるためには、単語を覚えるとともに、それをどうやって使うかを意識しておく必要があります。そのために、ここでは東島通商語の文法構造についてももう少し詳しく見ていきましょう。

日本語において、「窓を見る」とは言いますが、「美しいを見る」とは言いませんね。これはなぜかといえば、名詞「窓」は助詞「を」と結びつけることができる一方で、形容詞「美しい」は助詞「を」と基本的には結びつかないからです。このように、その言語の中でその単語がどう振舞うかということをよく観察して「名詞」「形容詞」といった分類をしています。この分類のことを「品詞」と言います。

品詞について理解しておくことで、ある単語の品詞が何かわかれば、「その単語をどう扱えば自然な文が作れるか」を理解しやすくなります。

## 名詞

人や物などを表す語、またはそのような語と似たふるまいを見せる語を「名詞」と呼びます。先ほど簡単な文の作り方でも見たように、名詞は動詞の前に来て文の主語になったり、動詞のあとに来て「～を」という目的語になったりします。

## 動詞

物事の動作や状態などを表す語を「動詞」と分類します。東島通商語の動詞は他動詞や特殊動詞を除いて「**工**」が前に付くことが特徴です。

## 他動詞

動詞の中でも、そのまま後ろに目的語を置くことができる動詞を他動詞と呼び、**ПМ（イト）で終わる**ことが特徴です。しかし、**ПМ（イト）で終わる**からといって、必ずしも他動詞でないことには注意してください。例えば、偶然「イト」で終わる名詞「ススイト」（虎）、「アイキト」（アイキト島）や、目的語を取れない動詞「ルピト」（悔しい）などが例外です。

## 形容詞

物事の状態を表す語を「形容詞」といいます。形容詞には **ЗУМН（レティ）** がつくものが多いですが、つかないものもあります。どちらも文の述語になったり、名詞の前についてその名詞を修飾することができます。述語になる場合は、以下のように動詞と同じく **У（エ）** を前に置きます。

Дэ	У дэюзуиП
ソ	エ・シャネレティ
あなた	面白い
あなたは面白い。	

дБЮУЗУИИ	ЕЗЗБЮИИ
シャネレティ	クランテ
面白い	本
面白い本	

ДУХ	ЮБДУ	У ДЗЮ
シェブ	ナシェ	エ・ション
大きい	針	奇妙だ
大きい針は奇妙だ。		

## 前置詞

英語には in, at, on などの「前置詞」という品詞があり、名詞の前につくことで「～が」でも「～を」でもない関係を表すことができるのでした。

東島通商語にも似たようなものがあります。前置詞「ヨ」は「～に、～で」という意味を極めて幅広くカバーします。

он	и кәшү	чә	шәндәш
ミ	エ・トゥデ	ヨ	ディステイス
私	行く	～に／～で	家
私は家に行く。			

「ヨ」以外にも、たとえば「～に反対して」を表す「ペンテ」などといった前置詞がありますが、最初のうちは「ヨ」さえ分かっていれば全く問題ないでしょう。

## 特殊動詞

動詞のうち、普通の動詞と振る舞いが異なるものを特殊動詞といいます。例えば、先ほど紹介した、名詞が述語となる文に出てくる「エ」は実は特殊動詞です。他にも、「モル」（ある・いる）や「モリプ」（ない・いない）などがあり、これらは前に「イト」が付いたり、後ろに「エ」がつくことはありません。

он	әсә	чә	шәндәш
ミ	<b>モル</b>	ヨ	ディステイス
私	<b>いる</b>	～に／～で	家
私は家にいる。			

## 前置助動詞

前置助動詞は、動詞の前に置いて動詞に変化をもたらしたり追加情報を付加したりする語です。例えば「セネ」（～できる）、「デル」（～しなければならない）などがあります。先ほど紹介した「ニプ」（～ではない）も前置助動詞です。

ЗБИБ	DUIJU	ЕЮЮЗБИЮНИ	XNDU
ラタ	<b>セネ</b>	クンラニト	ピセ
人	～できる	～を食べる	獣
人は獣を食べることができる。			

他にも、「ショペ」（～もまた）、「パンシェンソ」（ずさんに～する）、「イサラト」（冷静に）など、さまざまな前置助動詞があります。

## 後置助動詞

後置助動詞は、動詞の後ろについて、動作の方向性や難易度などを示します。

「リユイト」（学問する）に後置助動詞「トゥデ」を付けた「リユイト・トゥデ」は「教える」、後置助動詞「キエエ」を付けた「リユイト・キエエ」は「学ぶ」を意味します。このように、おもに対になる概念を作り出すために後置助動詞は用いられます。

## 名詞接尾辞

名詞の後ろについて新たな名詞を作る要素を「名詞接尾辞」と呼びます。例えば、「シツィ」（～さん）、「ウンティク」（～自身）などがこれにあたります。